

J Aバンク石川における地域密着型金融の取組状況（2019年度）

J Aバンク石川（石川県下J Aと石川県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、J Aバンク石川中期戦略（2019～2021年度）に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

2019年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援の一層の強化

J Aバンク石川は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

（1）農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク石川は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

2020年3月末時点のJ Aバンク石川の農業関係資金残高^{（注1）}は26,351百万円（うち農業経営向け貸付金8,164百万円）、日本政策金融公庫等の受託貸付金^{（注2）}残高は2,130百万円を取扱っています。

（注）

- 1 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。
- 2 J Aバンク石川が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。

【営農類型別農業資金残高】 単位 百万円

	2020年3月末現在
農業	8,164
穀作	2,970
野菜・園芸	755
果樹・樹園農業	83
工芸作物	-
養豚・肉牛・酪農	543
養鶏・鶏卵	7
養蚕	-
その他農業	3,806
農業関連団体等	18,187
合計	26,351

（注）

- 1 「その他農業」には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者および農業サービス業が含まれています。
- 2 「農業関連団体等」には、J Aや全農（経済連）とその子会社等が含まれています。なお、本残高には、信用事業を行う系統団体に対する日銀成長基盤強化資金等の制度資金の原資資金が含まれています。

【資金種別農業資金残高】 単位 百万円

種 類	2020年3月末現在
プロパー農業資金	22,579
農業制度資金	3,772
農業近代化資金	2,376
その他制度資金	1,396
合 計	26,351

(注)

- 1 「プロパー農業資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているものをいいます。なお、プロパー農業資金には、信用事業を行う系統団体に対する日銀成長基盤強化資金等の原資資金が含まれております。
- 2 「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金をJAバンクが転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンク石川が低利で融資するものを対象としています。
- 3 「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】 単位 百万円

種 類	2020年3月末現在
日本政策金融公庫資金	2,130
そ の 他	-
合 計	2,130

(注) JAバンク石川では、主に信連を窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

(2) 担い手のニーズに応えるための取組み

JAバンク石川では、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取組みを行っており、農業融資担当者が営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。これを支える体制として、豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を、2019年度末時点で23名(県下16JA+信連)配置しています。

JA系統独自の農業融資資格制度「JAバンク農業金融プランナー」を導入しており、有資格者は2019年度末時点で県内に73名誕生しています。農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応えていくことを目的としています。

担い手サポートセンター機能を担う「JAグループ石川営農戦略室」を中央会に設置し、各事業連との連携強化を図り、担い手の各種ニーズへの対応と農業所得増大に取り組んでおります。

(3) 事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、JA内事業間連携を強化しています。

【具体的取組】

① 農業融資研修等の開催

農業者の経営支援等に必要となる基礎知識習得を目的として、農業融資・担い手・営農・経済担当者合同農業融資研修等を開催しております。

② 農業経営アドバイザー試験への取組み

農業経営のコンサル機能強化を目的に日本政策金融公庫が取組みを開始した「農業経営アドバイザー制度」の資格取得に取り組んでいます。

(2020年3月現在131名合格)

JA加賀	12名
JA小松市	15名
JA能美	18名
JA松任	15名
JA金沢中央	2名
JA金沢市	15名
JA石川かほく	8名
JAはくい	3名
JA志賀	3名
JA能登わかば	17名
JAおおぞら	3名
石川信連	11名
基金協会	1名
中央会	5名
全農いしかわ	2名
全共連	1名

③ メイン強化先へのJA訪問対応

将来的な地域農業の担い手として関係を強化・再構築すべき農業者をメイン強化先(2019年度は1,313先を選定)として位置付け、定期的に訪問活動を行っております。

(4) 農業メインバンクCS調査の実施と結果の活用

JAバンクでは、JAの農業融資に対する率直なご意見・ご感想をお伺いすることを目的として、お客様満足度の計測(農業メインバンクCS調査)を行っております。

得られた結果を活用しながら、農業者の声により応えることが出来るよう、農業メインバンク機能の一層の強化に取り組んでいます。

2 担い手の経営のライフステージに応じた支援

JAバンク石川は、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っております。

(1) 次世代農業者の育成支援

J Aバンク石川では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金等を取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】 単位 件、百万円

	2019年度 実行件数	2019年度 実行金額	2020年3月末 残高
青年等就農資金	8	20	88
就農支援資金	—	—	24
合計	8	20	112

(2) 食農バリューチェーン構築による農業・地域の成長支援(商談会・ビジネスマッチング)

J Aバンク石川は、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の架け橋」として多様な機能を発揮しています。

【2019年度 商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	参加団体数	内容
JA・JF グループ 北信越商談会	2020. 1. 28	JAバンク JF マリンバンク	セラー35 団体 バイヤー42 団体	成約数 42 件 (成約率 15.3%)

(3) J Aバンク石川講演会・セミナー等の開催・参画

J Aバンク石川では、一流の経営者を招いた講演会や、6次産業化・輸出・ファンドに関するセミナー等を開催し、担い手の経営力向上に貢献しています。

【2019年度 講演会・セミナー等開催・参画状況】

講演会・セミナー名	アグリファンド石川 例会	アグリファンド石川・ 翼信会合同視察研修	アグリファンド石川 例会
開催日	2019. 8. 9	2019. 11. 8	2019. 12. 19
主催者	アグリファンド石川 (事務局: J Aバンク石川信連)		
J Aバンクの 関わり方	主催		
対象参加者	農業者等		
参加者数	41 名	48 名	35 名
内容	講師: 日本電信電話(株) 久住嘉和 氏 テーマ: NTTグループ 全体の取組と生産 管理システム	講師: (株)金沢ワイナリー 井村辰二郎 氏 テーマ: 有機農業の 可能性と6次産業への 取組	講師: (株)ぶった農産 佛田利弘 氏 テーマ: 第三者認証 GAPであなただの 経営は変わる

(4) 農業者とのネットワーク拡大

J Aバンク石川では、農業法人とのネットワーク拡大、関係強化に取り組んでおり、県内農業者を会員とし、農業経営の安定向上を目的に昭和 52 年に設立された「アグリファンド石川」の事務局を務め、農業者との関係強化を行っています。

2019 年度は、地区別にプロジェクトチームを組成し、農業経営における課題解決に繋がるテーマを掲げ活動を行っており、活動支援等運営をサポートしております。

(5) 農業近代化資金等の保証料助成

農業近代化資金等の借入者に対し、保証料相当額を助成することで、その経営をバックアップし成長に向けた支援を行っております。

2019 年度実績 472 件 31,619 千円

(6) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク石川では、負債整理資金の対応等にあたり再生計画の策定支援や経営指導など、農業者の経営改善支援に取り組んでいます。

(7) 事業性評価を通じた農業者の経営課題の把握・課題解決ソリューションの提供・蓄積

地域の中核となる農業者に対し、業種特性や内外の環境等を踏まえ経営課題を抽出・整理し、課題解決に向けたコンサル機能等を提供することにより、農業所得向上に取り組んでいます。

2019 年度は 2 先を選定し、関係機関と協力し課題解決・農業所得向上を支援しております。

【2019 年度 農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先)

	期中経営改善支援取組先 A	Aのうち再生計画を策定した先数	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数	再生計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A
		a	b	c		
正常先①	5			4	0.0%	
要注意先	うち その他要注意先②	3		3	0.0%	0.0%
	うち 要管理先③	2	1	1	0.0%	50.0%
破綻懸念先④	9		1	8	0.0%	11.1%
実質破綻先⑤	6		1	5	0.0%	16.7%
破綻先⑥					0.0%	0.0%
小計 (②～⑥の計)	20	0	3	17	0.0%	15.0%
合計	25	0	3	21	0.0%	12.0%

(注) 期中経営改善支援取組先および債務者区分は 2020 年 3 月末時点のものです。

3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底

J Aバンク石川では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 資本供与の取組み（ファンドの活用）

J Aバンク石川では、農業振興や環境に貢献する取組みを行う農業法人・企業等に担い手応援ファンド等の資本供与スキームを提案し、その成長を支援しています。

(2) 6次産業化の支援

J Aバンク石川では、担い手の所得向上を支援するために、生産と販売のマッチング機能強化や、需要拡大が見込める分野の事業展開支援、いわゆる6次産業化促進支援を行っています。

(3) 負債整理資金による経営支援

J Aバンク石川では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【2019年度 負債整理資金の貸出実績】 単位 件、百万円

資金名	2019年度 実行件数	2019年度 実行金額	2020年3月末 残高
農業経営負担軽減支援資金			26
畜産特別資金			223
その他			77
合計			326

- ・ 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。
- ・ 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。

(4) 動産担保融資の活用

J Aバンクでは、農畜産物や事業用車両、各種在庫など様々な動産を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取組みを行っています。

石川県における融資の実績は次表のとおりです。

【動産担保融資活用実績】 単位 件、百万円

	2019年度末		内容
	件数	残高	
農産物			
畜産物	1	14	乳牛
機械設備			
その他			
合計	1	14	

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク石川では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

(1) J Aバンク教材本贈呈事業の実施

子どもへの食農教育・環境教育等の活動を通じて農業の理解を広げることが目的として、J Aバンク石川では「J Aバンク教材本」を県内の全小学校 206 校に贈呈しております。

(2) 「クリーンビーチいしかわ」への協賛・参加

J Aバンク石川は、環境保全に取り組む「クリーンビーチいしかわ」に協賛し、毎年金沢市内で実施される海岸一斉清掃にボランティア参加しております。

(3) 農村地域振興等の基金（ファンド）への出資

石川県が創設した「いしかわ里山振興ファンド」、「いしかわ産業化資源活用推進ファンド」、「いしかわ次世代産業創造ファンド」、「いしかわ農業参入支援ファンド」に、J Aバンクを代表して信連が基金の一部を出資しており、地域農業振興、新ビジネスの創出・育成支援等の観点から取組みを応援しております。

(4) 「第 42 回 J Aバンク石川くらしの絵コンクール」の開催

「くらしと農業」をテーマに、子どもたちがくらしを見つめることで正しい生活感の醸成を図るとともに、美術教育の振興を目的として、昭和 53 年より毎年開催しております。

優秀作品については、2019 年 10 月開催の「石川の農林漁業まつり」会場において展示するとともに、入賞者の表彰を行っております。また、優秀作品の冊子を作成し、入賞者をはじめご応募いただいた小・中学校へ配付しました。

(5) 節電・省エネへの取組

(公社)いしかわ環境パートナーシップ県民会議が行う、「エコチケット」事業（いしかわ家庭版環境 I S O）への寄付（協賛）を行っております。

また、空調の設定温度管理やエレベーターの稼働数を抑えるなどの取組みを行うとともに、空調設備や照明機器は電力消費の少ないものへの更新を行っております。

以上